

(様式1) 平成19年度 事務事業評価表					
記入年月日	平成19年4月12日	記入者		連絡先	252
平成18年度部名	企画部	課名	相模湖町地域自治区事務所地域振興課	課長名	榎本昭雄
平成19年度部名	市民活力推進部	課名	相模湖町地域自治区事務所	課長名	榎本昭雄
事務事業名	地域自治区広報紙広報さがみこ				
予算上の事務事業名	地域自治区広報費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード		16310		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政策名	第6章 彩りのある市民文化を創造します				
基本施策名	第3節 文化的視点に立った行政の推進				
施策名	第1施策 文化的視点に立った行政の推進				
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等					
広報広聴規則					
3 個別計画の概要			概要		
計画名	なし				
計画年次		年度～		年度	
4 事業形態の区分	啓発・広報・イベント		5 事業開始年度	平成18年度	
6 事業概要					
(1) 事業の目的(何のために行うのか、またはもたらしたい成果)				(2) 対象(誰、何)	
「広報さがみはら」に掲載できない、地域自治区内を対象としたお知らせや地域協議会の開催案内、協議結果等の情報を自治区内の市民に提供するため、地域自治区広報を発行する。				相模湖町地域自治区内の市民(世帯)	
(3) 平成18年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
発行回数 12回 定例号毎月1回(15日)・・・4P=9回、6P=3回 発行部数 3,600部/回 決算額 1,575,840円(印刷製本費、新聞折込委託、声の広報作成委託 ほか) 印刷単価(1ページ当り) 4P=3.465円、6P=5.25円 折込単価(1部当り) 4P=5.04円、6P=6.09円 配布方法 新聞折込 新聞店3店2,990部/回 郵送平均約40件/回 各出張所・公民館・公共施設・駅などに配布約570部/回					
7 関連事業・類似事業又は他市の状況					
8 事業費の推移 [単位:千円]					
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業費	0	0	1,575	1,695	1,695
一般財源	0	0	1,335	1,461	1,461
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	0	0	240	234	234
人件費の合計	0	0	6,440	6,440	6,440
事業コスト合計	0	0	8,015	8,135	8,135
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率					
事業名 (主たる事業名)	地域自治区広報紙広報さがみこ			対象名称 と単位	1部あたり
年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
事業コスト(主たる事業)	0	0	8,015	8,135	8,135
対象数	0	0	46,800	43,200	43,200
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	171	188	188
前年度比		#DIV/0!	#DIV/0!	1.10	1.00

1 0 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの					
指標名と単位	地域自治区広報紙の発行部数	指標式と指標の説明	配布部数 / 発行部数 × 100 配布率により、地域自治区内の情報提供の公共性を表す		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	0.0	0.0	46,800.0		
目標	0.0	0.0	46,800.0	43,200.0	43,200.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	100.0		
1 1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	地域自治区広報紙の活用度	指標式と指標の説明	発行回数		
	平成 1 6 年度	平成 1 7 年度	平成 1 8 年度	平成 1 9 年度	平成 2 0 年度
実績	0.0	0.0	13.0		
目標	0.0	0.0	12.0	12.0	12.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	108.3		
1 2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A : 妥当である・ B : 妥当性に課題がある・ C : 妥当でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A : 有効である・ B : 有効性を高める余地がある・ C : 有効でない]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A : 効率が良い・ B : 効率性を高める余地がある・ C : 効率が悪い]					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1 3 総合評価（一次評価）					
(1) 自動判定結果					
[] : 良好な状態を維持する事業					
[] : 概ね良好な状況である事業					
[] : 見直しを行う必要がある事業					
[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業					
(2) 事業所管課長による評価（今後の方向性）			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	・拡充・充実		相模湖町民は当初、旧市での広報紙のみだけと考えていたので、身近な話題の載った広報さがみこ発刊は大変好評を得ている。後半増刊号もだし、充実しつつあります。今後もより多くの情報を提供するように努めます。	
	<input type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1 4 成果向上及び効率性を高めるための方策			1 5 課題として認識されたこと		
広報相模湖の発刊だけでなく、もう少し身近な情報を望む声が多い、旧市と同様に公民館だよりのようなものがあると良いのでは			旧町当時は身近な情報が多くあったが、現在は紙面も限られて身近な情報が少ない、旧市では公民館だよりの発刊されている、同様な情報誌を期待する声が多く出ている。		
1 6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			